

# UNI GLOBAL UNION



**Think Globally, Act Locally**

世界を視野に入れながら、身近なことから行動しよう



# UNI GLOBAL UNION

## UNI(ユニオン・ネットワーク・インターナショナル)とは

UNIは、国際産業別労働組合組織(GUF)の1つで、情報通信技術の発展を軸に急速に進むグローバル化、産業の融合、経済のグローバル化といった21世紀の諸課題に対応するため、4つの国際産業別組織が統合して2000年1月に誕生した国際労働組織です。本部はスイス(ニヨン)にあり、現在、世界150カ国、900組合、2,000万人の技能・サービス労働者を組織しています。

国境を越えた働く人たちとの連帯と情報の共有化を図るため、国際労働運動の強化とグローバルネットワーク機構が、喫緊の課題となっています。日本の労働組合のグローバル化への対応や多国籍企業対策等は極めて不十分であり、国際組織における日本の労働組合が果たす役割は大きくなっています。

NTT労組は、UNIにおける国際活動へ積極的に参画するとともに、グローバルな情報通信産業に携わる世界の仲間との活動に積極的に取り組んでいます。



2009年3月、UNIのロゴが新しくなりました!! UNIのスペルの真ん中、“N”という字に人間の姿が見えます。これは、UNIが創立時から提唱する「ピープルファースト(人間第一)」のスローガンに由来します。グローバル経済に社会的側面を付与するUNIの哲学は、そのスローガンに凝縮されています。

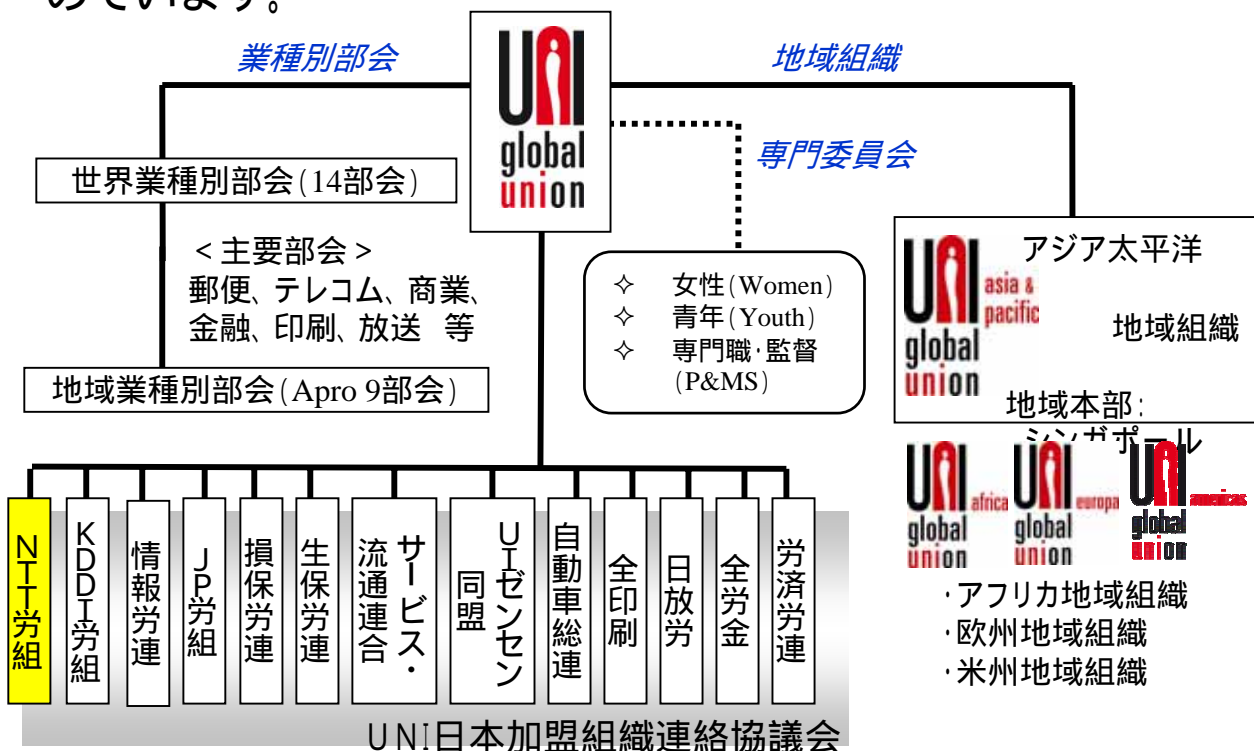
# UNI GLOBAL UNION

## NTT労組とUNI

NTT労組は業種別部会では「テレコム部会」、4つの地域別組織では「アジア太平洋 (Apró) 地域」に属しています。

業種別部会の枠を超え、女性、青年、専門職・監督職などの専門委員会活動にも積極的に参加しています。

日本のUNI加盟組織がUNI活動に対する意見調整等を行うために設置しているUNI日本加盟組織連絡協議会 (UNI-LCJ)に参加し、UNIやUNI-Aproと連携して活動を進めています。



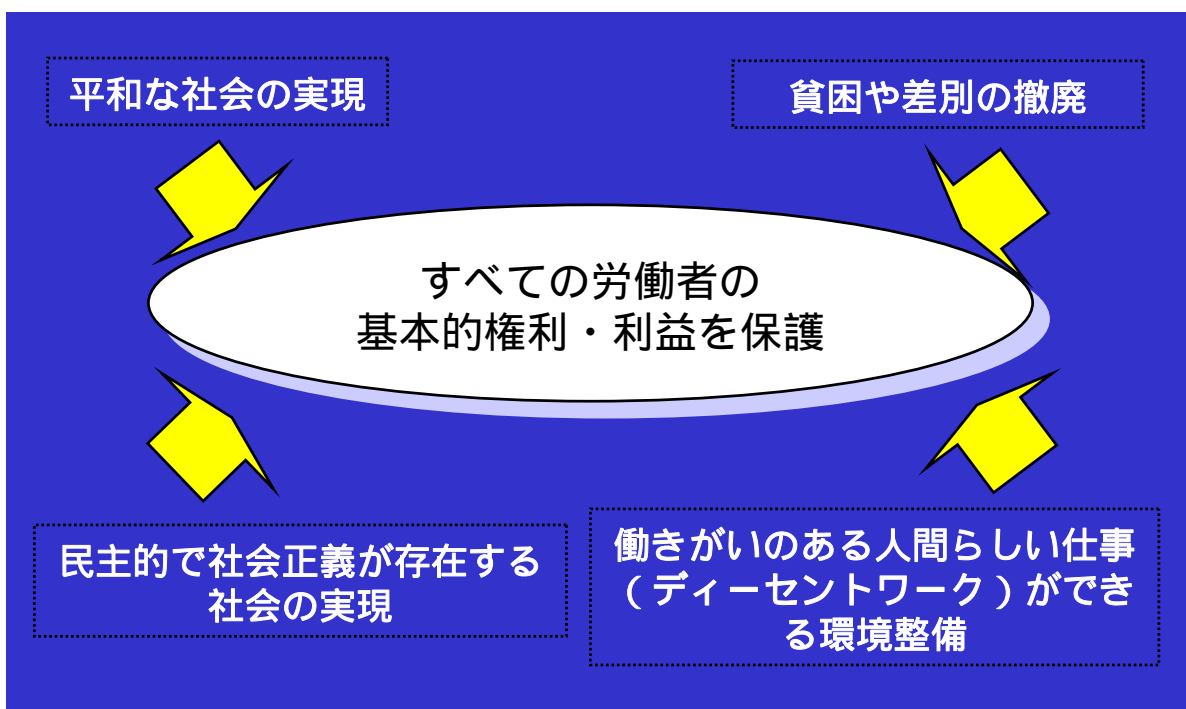
UNIには、4つの地域組織、業種別部会 (世界は14部会、アジア地域には9部会)、3つの専門委員会がある

# UNI GLOBAL UNION

## 国際労働運動

国際労働運動とは、労働組合が国境を越えたつながりの中で協力しながら、共通する課題や労働者に影響を与える国際的諸課題の解決や改善に向けて情報交換や経験交流を行ない、労働組合としての対応策を話し合っ、必要とされる活動を推進する運動のことです。

国際労働運動の目的は、平和で貧困や差別がなく、すべての人に人間らしい労働の場が与えられ、子供たちには教育の機会が与えられ、環境が守られ、民主的で社会正義が存在する社会の実現であり、世界中の多くの労働組合が集結し発言力を高める それらのことによって、それを達成しようとする運動です。



# UNI GLOBAL UNION

## グローバル枠組み協定

グローバル枠組み協定は、企業活動がグローバル化する中、世界レベルで人権と環境を守りILOの中核的労働基準を中心とした労働者の基本的権利を推進するため、UNIなどの産業別国際労働組合と多国籍企業の労使との間で締結する協定です。労使の合意の基に社会的責任を果たしていくことで、公正で持続可能な社会の実現をめざします。

2008年11月、株式会社高島屋、高島屋労働組合、JSD、UNIの間で、日本初のグローバル枠組み協定が締結されました。UNIは、2010年長崎で開催される第3回世界大会に向けて、第2、第3の締結を目指し全力を尽くして取り組んでいます。

## ILOの中核的労働基準

- 第 29号 強制労働条約
- 第 87号 結社の自由及び団結権保護条約
- 第 98号 団結権及び団体交渉権条約
- 第100号 同一報酬条約
- 第105号 強制労働廃止条約  
**日本未批准**
- 第111号 差別待遇(雇用および職業)条約  
**日本未批准**
- 第138号 最低年齢条約
- 第182号 最悪の形態の児童労働条約



# UNI GLOBAL UNION

## NTT労組が取り組むUNIの活動

NTT労組は、UNIの世界レベル、アジア太平洋レベルの各段階で主要なポストを担い、国際労働運動の一翼を担っています。

世界レベル	UNI世界執行委員	1名 (アジア太平洋選出)	中央本部 加藤委員長
	UNI世界テレコム部会副議長	1名 (アジア太平洋選出)	中央本部 加藤委員長
アジア太平洋レベル	UNI-Aproテレコム部会議長	1名	中央本部 加藤委員長
	UNI-AproP&MS委員会副議長	1名	持株本部 福地委員長
	UNI-Apro青年委員会委員	1名	中央本部 清澤中執
	UNI-Apro女性委員会委員	1名	中央本部 宇田中執

## UNIテレコム部会

UNIテレコム部会は、大会(4年に1回)および、委員会(年1回)を世界レベルとアジア太平洋レベルでそれぞれ開催し、各国の情報通信規制の動向やテレコム労働者に関わる課題等について、情報の共有化を図るとともに、諸課題への対応等について認識を合わせています。



【写真】今年5月にスイス・ニヨンで開催されたUNI世界テレコム部会委員会で、加盟組織は米国「従業員自由選択法案」の議会通過を大使館に要請することを確認。これを受けて、NTT労組加藤委員長は5月28日、米国大使館を訪問し、ロバート・セクタ経済担当公使に要請書を手交しました。

# UNI GLOBAL UNION

## **専門職・監督職(P&MS)委員会**

### **第3回UNI-AproP&MSフォーラム(2009年4月、東京)**

UNI-Aproにおける研究・開発等の専門職労働者や管理職労働者(P&MS)の課題に対する認識の共有・意見交換等を行う場として、UNI-Apro、NTT労組持株本部、中央本部で共催



## **女性委員会**

### **第10回UNI-Apro女性委員会(2008年10月、フィリピン)**

共通の問題を抱える女性が各国の経験から学び、互いにサポートしあう活動を目指す女性委員会。ワークライフバランス、ディーセントワーク(人間らしい働き方)、女性の非正規労働者増加等の諸課題について各国の取り組み事例を共有



## **青年委員会**

### **UNI-Apro/NTT労組 青年ワークショップ(2008年8月、フィリピン)**

青年労働者を取り巻く状況はどこの国も深刻。アジア太平洋地域の青年間ネットワークを強化し、また各国の青年委員が行う社会貢献活動を実際に体験することで、国際労働運動の必要性を肌で感じる青年役員研修



# UNI GLOBAL UNION

## 第3回UNI世界大会、2010年長崎で開催

2005年にシカゴで開催された第2回UNI世界大会では、2010年11月に行われる第3回UNI世界大会を長崎で開催することが確認されました。鎖国時代、長崎は海外に開かれた日本唯一の貿易・文化の窓口として大きな役割を果たしました。また、第2次世界大戦末期の1945年8月9日には、一発の原子爆弾が7万余命の尊い命を奪い、市北部一帯が廃墟となりました。しかし、長崎はその苦難から立ち上がり、今では人口47万人を抱える西九州の中心都市になりました。第3回UNI世界大会は、このような歴史、文化を感じることができる国際化・平和のシンボル「NAGASAKI・長崎」から世界に平和のメッセージを発信します。

第3回UNI世界大会では、世界各国から多くの参加者（約2,000名規模）が見込まれています。彼らを万全な体制で受け入れるために、UNI-LCJ加盟組織は各産別毎に受入の準備を行なっています。



UNI-LCJ全体でユース英語セミナー参加者を  
中心にボランティアスタッフを募集予定です

私たちテレコム部会(情報労連・KDDI労組・NTT労組)は「交流」担当。大会参加者同士・市民の交流や日本文化の紹介等、ゲストに日本・長崎を見て、知ってもらうために多くのシーンでの活躍が期待されています。



# UNI GLOBAL UNION

## UNIデスクでのカンパ金の使われ方 - 前年度報告 -

2008年度は、「モンゴル加盟協ITセンター建設支援」として、加盟組合大会等で1,695,227 円の寄付金(今年の第11回NTT労組定期全国大会では計382,301円)を集めました。このうちUNI グッズ製作費、現地調査出張経費を除く1,259,489 円がモンゴル加盟協に寄付されました。

2009年5月17日には、桜田UNI日本加盟協議長がウランバートルを訪問し、コミュニケーターズセンター(ITセンターの正式名称)開所式に立会いました。6月末には、UNI-Apro青年委員を務める清澤NTT労組中央執行委員を団長としたUNI日本加盟協代表団が青年・女性セミナーのためウランバートルを訪問し、コミュニケーターズセンターを視察しました。パソコンの使い方だけでなく外国語学習プログラムも用意されており、組合員どうしの連携強化と同時にエンプロイアビリティ向上に役立っています。



日本のみなさんのおかげで、パソコンの使い方と語学を学べる総合施設が誕生

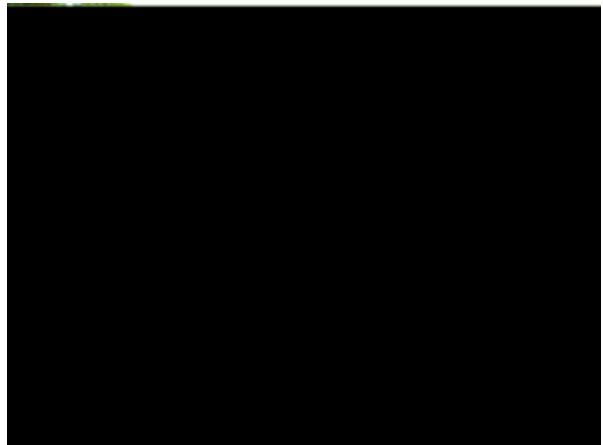


清澤中執、コミュニケーターズセンター訪問  
(2009年6月)

# UNI GLOBAL UNION

## UNIデスクでのカンパ金の使われ方 - 今年度 -

2009年度は、2010年長崎で開催される第3回UNI世界大会・同女性大会、第3回UNIアジア太平洋地域青年大会に、アジア太平洋地域からより多くの青年・女性の参加を支援するためのカンパとします。途上国の労働組合は、来日のための旅費補助を必要とする場合が多く、特に青年メンバーや女性役員には、なかなか参加するチャンスがありません。ぜひご協力をお願いします！



# UNI GLOBAL UNION

## UNI世界大会への参加に向けた各国の取り組み

インドネシア産別労組ASPEKインドネシアは、7月23～27日にジャカルタで開催されるUNI-Apro4部会大会(テレコム・郵便・商業・金融部会)で、ASPEKやUNI-Aproグッズを販売します。売り上げ金は、ASPEK役員はもちろん、青年委員、女性委員へも分配され、性別・年齢のバランスがとれた構成員をUNI世界大会へ派遣しようと努力しています。



UNI-PLC(フィリピン加盟協)の青年委員会も、できるだけ多くの青年・女性委員が世界大会に参加できるよう、青年委員会が中心となって、戦略会議を開くところから取り組みをスタートさせました。今後は、PLC加盟組織における青年委員どうしが連携してカンパ活動やグッズ販売を行い、UNI世界大会参加へ向けた取り組みと平行して、ネットワーク構築と組織強化に努めていきます。



# ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために



(2009年7月発行)

写真 表:第2回UNI-Apro地域大会(2007年8月、マレーシア・クアラルンプール)  
裏:インドネシア・ジャカルタのスラム街「ボンガラン地区」で暮らす子供